

2016年10月22日

## 「C型肝炎検査啓発キャンペーン」をアルビレックス新潟×浦和レッズ戦にて実施

— 「一度は肝炎ウイルス検査を！」アルビレックス新潟  
X浦和レッズ戦で、約3万人の来場者にC型肝炎検査  
の啓発活動を実施 —

10月22日（土）、アルビレックス新潟と浦和レッズの  
試合を観戦しようと詰めかけた約3万人の観客に対し、肝  
拠点病院である新潟大学とギリアドの社員ボランティアが共  
に、「C型肝炎検査の呼びかけ」を行いました。（場所：  
新潟・デンカビックスワン）



試合に先立ち、入場ゲートでは、アルビレックス新潟の田中達也選手と新潟大学寺井教授が、C型肝炎  
についての説明や、検査の大切さを訴えたパンフレットを配布し、その後、新潟大学とギリアドのボランティア 28  
名で3万部のパンフレットを配布しました。そのパンフレットを手にした観客が、試合開始までの間、それを熱心  
に読みいる姿が印象的でした。試合前半終了後のハーフタイムでは、ギリアドのTVCMと田中選手と寺井  
教授による肝炎検査を呼び掛けたビデオメッセージが流れ、グラウンドでは新潟大学の皆さんとギリアドの社員  
ボランティア総勢約100名により行進が行われました。肝炎検査を呼び掛ける横断幕を持ちながら、グラウンド  
を行進する間、観客からは手を振って応答する姿が多く見受けられました。

今回の活動では、市民チームが前身のアルビレックス新潟らしくサポーターには、多くの高齢者や家族連れが  
見受けられ、これらの方々が、試合後、パンフレットをみて、肝炎を考えるきっかけになったり、肝拠点病院に問  
い合わせになるきっかけとなるよう、今後もギリアド社員のボランティア活動の一環として、このような草の根運動  
を続けて参ります。